

未来への投資?

いつもお世話になっております。

安倍首相はデフレ脱却に向け「内需を下支えできる総合的かつ大胆な経済対策を実施したい」と表明しました。融資などを含め、事業規模10兆円を超える大型対策になりそうです。その中で、年金受給を納付10年に短縮するとの意向を示しました。

* 年金の受給について *

まず、年金は20歳以上から60歳未満の間、すべてのみとが保険料の納付を義務付けられています。そして、納付期間や、納付免除期間等を合計した期間が25年に達すると年金を受け取れます(受給資格を得ます)。

ところで、非正規雇用の増加などを背景に納付期間が25年に達しない人が増加しています。そこで、今回、脱デフレ対策で納付期間が10年へ変更の予定となりました。その結果、受給資格が10年に短縮されることにより、約42万人いる無年金者のうち、約17万人が新たに年金を受給できる見通しです。

元々、消費税を10%に上げる時に実践するとされていたので、当初この記事を見た時、10兆円の財源はどこからでてくるのだろうかと思いましたが、未来への投資、とのことでした。

皆様はどり思われたでしょうか。



メールマガジン配信希望の方は下記のメールアドレスまでご連絡くださいませ。